

投資者の皆様へ

2016年2月9日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2016年2月9日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、以下のファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び下落率(2月9日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
中小型成長株ファンドーネクストジャパンー(愛称:jnext)	16,261	▲872	▲5.09
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)	25,236	▲1,487	▲5.56
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型)(愛称:jreviveII)	9,759	▲577	▲5.58

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

前頁記載のファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントは以下の通りです。

2016年2月9日の国内株式市場はほぼ全面安の展開となり、これを受けて弊社助言ファンドの基準価額も前日比5%以上の下落となりました。欧州で金融機関の財務悪化に対する投資家の不安が広がって前日の欧米株式市場が急落したのに加え、外国為替市場で円高が急速に進んだことが主因と考えられます。中国の景気悪化懸念や原油安、地政学的なリスクなど、2016年に入ってから投資家心理を冷やす要因が重なっていますが、日本企業を取り巻く経済環境に急激な変化は見込まれず、足元の株式市場全般に過熱感も見られないことを踏まえると、明らかに売られ過ぎの状況にあると思われます。実際、現在3月期決算企業の第3四半期決算発表がピークを迎えていますが、組入企業の業績は全般的に想定通りに推移していることが確認できています。

したがって、こうした局面こそ冷静に企業一社一社の精査を通じて、革新的な成長企業を割安な株価水準で組入れる好機となると考えています。本日も組入企業も含めた5社の経営者の方々と個別直接面談調査を実施し、この感触を改めて強めました。また、最近の面談の中でも自社の強みに磨きをかけて高い成長が見込まれる企業はしっかりと確認できています。こうした活動を通じて革新的な成長企業群による魅力度の高いポートフォリオを作り続けていますので、受益者の皆様にはご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 1.0%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬※ 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。